

公共事業再評価調書(再々評価)

主管課： 都市計画・モラル課

1 事業概要 (整備目的)	事業名： 浦添大公園整備事業		前再評価年度： 平成14年度	
	事業種別： 都市公園事業	事業主体： 沖縄県		(S47~H23)
	事業箇所： 浦添市	根拠法令： 都市計画法		事業期間： S47~H23
	(19,300)			(37.4ha)
	総事業費(百万円)： 19,300	費用内訳： 補助1/2		事業量： 37.4ha
県民の歴史・文化に対する関心の高まりや、余暇利用の多様化に伴い、史跡の保存を図りながら、県民のレクリエーション及び憩いの場として整備する。				
1-2 前再評価以降の計画変更	特になし			
2 再評価 該当項目	<input type="checkbox"/> ① 事業着手から10年を経過 <input type="checkbox"/> ② 事業着手から5年以内の工事未着手 <input checked="" type="checkbox"/> ③ 再評価後一定期間(5年)を経過 <input type="checkbox"/> ④ 事業の中止			
3 再評価に至った主な要因 (具体的理由)	<input type="checkbox"/> ① 用地取得等の困難 <input type="checkbox"/> ② 調査・設計の困難 <input type="checkbox"/> ③ 事業の拡大 <input type="checkbox"/> ④ 予算の確保 <input type="checkbox"/> ⑤ 手続き・法令の問題 <input type="checkbox"/> ⑥ 他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦ 整備効果の問題 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧ 当初計画が長期間 <input type="checkbox"/> ⑨ その他()			
前再評価において、平成23年度までの長期計画として設定している。				
4 事業の進捗状況 (H19.3月時点)	項目	事業費(百万円)	整備率(ha)	用地取得(ha)
	計画	19,300	37.4	37.4
	実施済	15,274	26.4	36.8
	率	79%	71%	98%
4-2 前再評価以降の主な進捗	・西エントランス駐車場近くの木陰の広場が完成し、ふれあい広場ゾーンから歴史学習ゾーンへのアクセスが可能となり、散歩やジョギングのコースとして多く利用されている。			
5 事業効果の評価指標 (基準年H19) (検討年50年) (単位:百万円)	①直接便益(旅行費用価値)	9,823	① 用地費	11,716
	②間接便益(環境、防災)	34,860	② 施設整備費	7,584
			③ 維持管理費	9,281
	総便益	44,683	総費用	28,581
	基準年換算(B)	46,408	基準年換算(C)	35,157
	費用便益比 (B/C) = 46408 / 35157 = 1.3			
6 事業を巡る状況の変化 (前再評価以降)	① 社会・経済： 近接する浦添カルチャーパークに、てだこホール(大ホール)がH19.4に完成し、浦添運動公園とともに浦添市の拠点となる公園整備を進めている。 ② 自然・文化： 平成18年度に「日本の歴史公園100選」に選ばれている。 ③ 地元・自治体： 平成16年度に浦添ようどれの復元(浦添市)が完了し、その周辺の早期整備が望まれている。 ④ 利害関係者： 補償交渉が難航している地権者がいる。			
7 事業の必要性や効率性	① 事業の必要性・緊急性・有効性など： 「日本の歴史公園100選」にも選ばれ、歴史学習の場としての利用、県民の生活意識や価値観の変化、多様化する利用者のニーズに対応するために事業を推進する必要がある。 ② 事業の効率性(代替案等の可能性) 本公園の整備率は71%であり、浦添城跡や、浦添ようどれを取り組んだ現計画を推進することが効率的である。 ③ 事業効果の発現状況： 歴史学習ゾーンの木陰の広場が整備され、ふれあい広場ゾーンからのアクセスが可能となり散歩やジョギング等に利用されている。			
8 今後の対応方針・見直し	① 事業計画等： 浦添市文化課と調整を図りながら、平成23年度に完了し供用を目指す。 ② 対住民関係： 引き続き補償交渉を進める。 ③ 執行体制等： 現在の組織体制で計画通り執行は可能である。			
9 対応方針	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業継続(現計画) <input type="checkbox"/> ② 事業継続(見直し) <input type="checkbox"/> ③ 事業の中止			
10 その他 (前再評価での主な意見等)	・歴史的地域の公園整備は、歴史誤認がないよう素材やグレードを変え、古い物と新しい物が判別できる施設整備を行う必要がある。 ・浦添グスクの歴史的、文化的雰囲気損なわないよう配慮すること。 ・公園整備は長期となる事業であり、常に見直しが求められるため、見直しには適切に対処していただきたい。 ・掘削は止め、コンクリートなどについても、その素材を生かした本物志向の整備を行っていただきたい。			

* 1事業概要の上段()は前再評価時点の計画